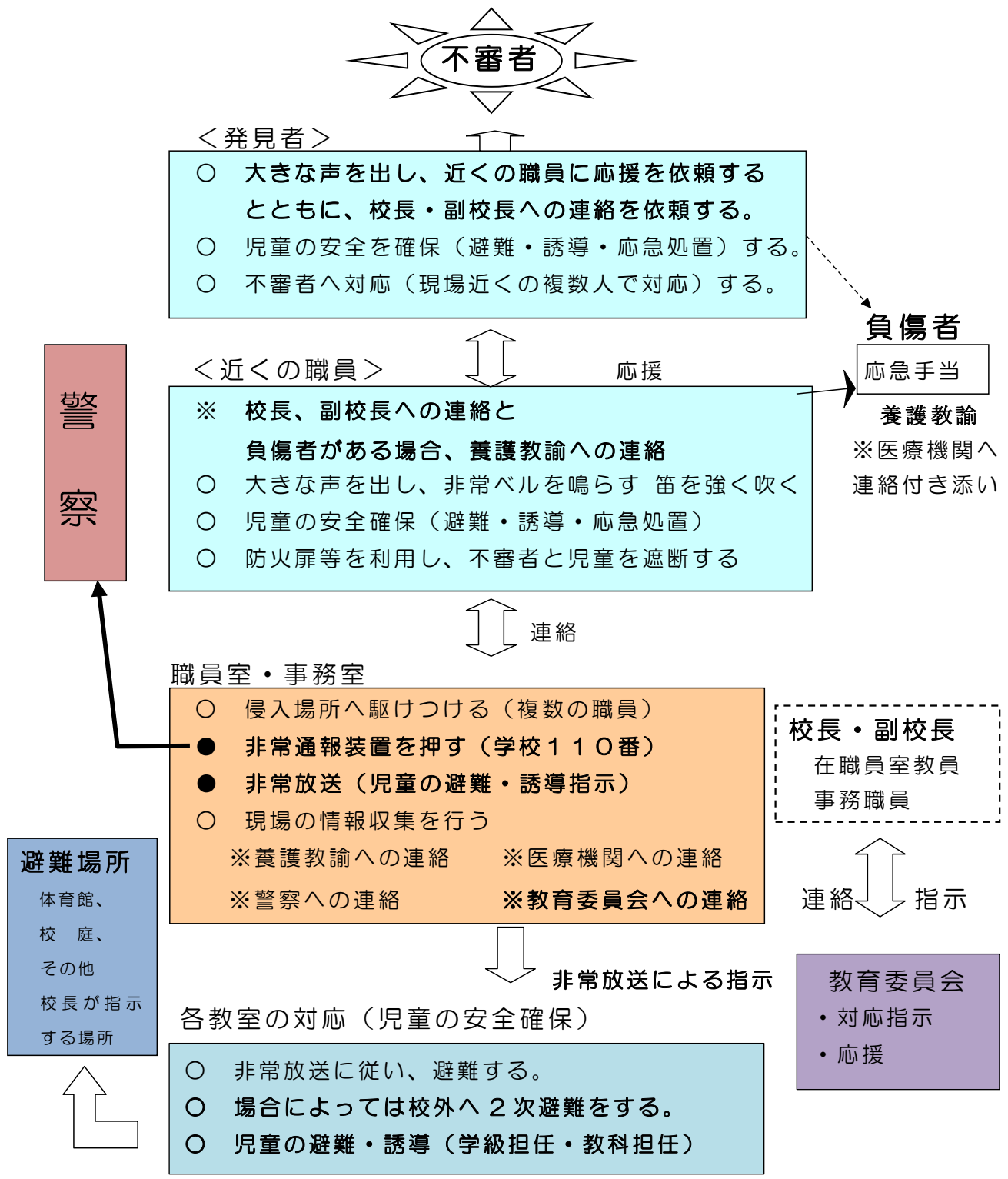


1. 第1次対応（不審者発見時の対応）



※警察への通報

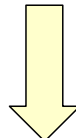
通常は、**小松川警察署 3674-0110** に電話連絡を行う。状況により非常通報装置（学校110番）を運用するが、運用に当たっては校長が判断する。

2. 第2次対応（事件直後の対応）

《緊急対策会議（運営委員会）》

- 情報収集・状況の把握
- 協議・決定、伝達・指示

- 負傷者の確認・医療機関への搬送
- 児童の安全管理・保護者への引き渡し、下校
- 警察との連絡 □ 教育委員会との連絡
- 保護者との連絡 □ マスコミへの対応



《救急措置》

- 応急処置
（発見者・養護教諭等）
- 医療機関への搬送、
連絡調整
（養護教諭）
- 負傷者の人数・氏名・
程度等の把握
（養護教諭）
- 負傷した児童の
保護者への連絡・対応
（副校長、学級担任）

《児童管理》

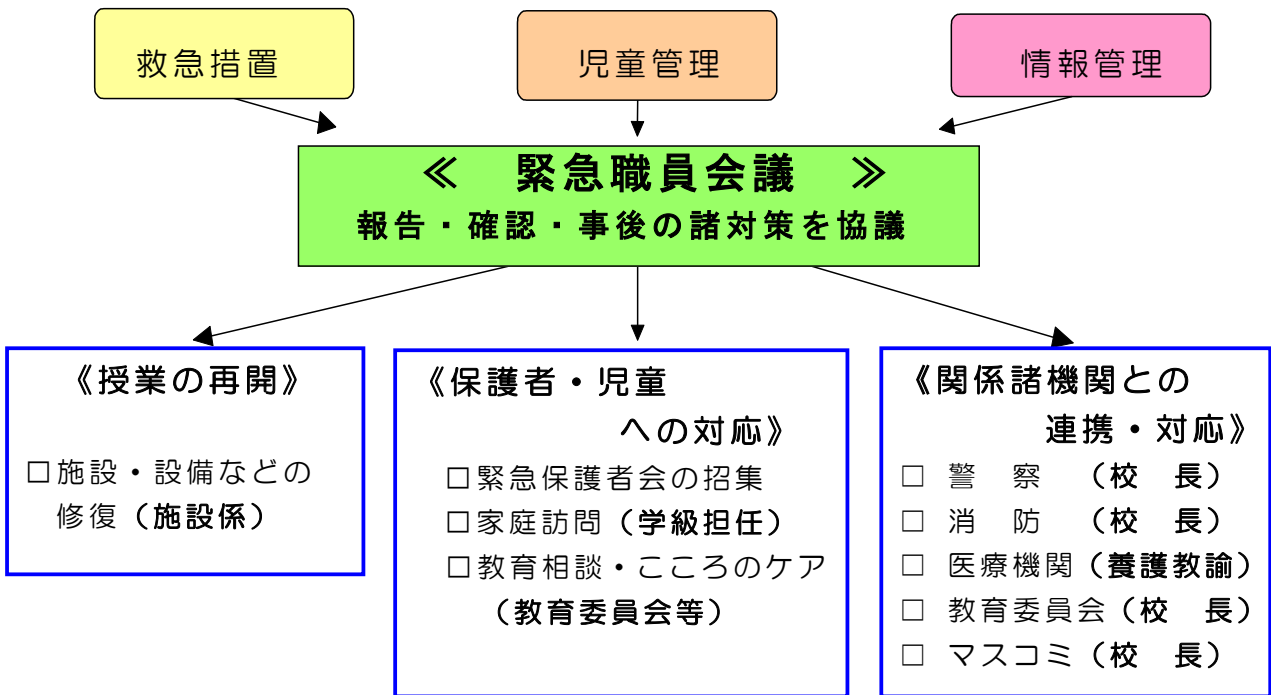
- 児童の安全管理
- 避難・誘導
- 下校・集団下校・引渡し
の指揮
（生活指導主任）
- P T Aとの連絡
（副校長）
- 保護者への連絡
（連絡メール）
（各学級担任）
（情報推進リーダー）

《情報管理》

- 情報収集・状況の
把握・伝達・記録
（教務主任）
- 警察・教育委員会・
マスコミへの対応
（校長）
- 保護者・地域への対応
（副校長）

※ 上記の役割について、校長不在の場合の代理者は必ず指定しておく。
また、副校長以下の教職員の役割についても、校長があらかじめ指定しておくものとする。

3. 第3次対応（事件後の対応・措置）



C-②

4. 児童の避難誘導

1 教職員の誘導體制	
副校長（又は主幹）	非常放送（避難場所の指示）
各学級担任・授業担当者	児童の誘導、安全確保
授業のない教員	校内残留児童の確認・誘導
2 発見時間及び場所による避難誘導	
授業中	学級担任又は授業担当者は、非常放送があった場合、事件発生場所（危険場所）を避けた避難経路を確認し、直ちに児童を安全な場所へ避難・誘導する。
休み時間	原則として、 <u>学級担任又は次の授業を受け持つ授業担当者</u> は、非常放送により事件が発生した場所を避けた避難経路を確認し、児童の避難・誘導にあたる。

5. 教職員等の主な役割

C-③

※発見者・・・大きな声を出し、近くの職員に応援を求め、複数人で対応。
児童の安全確保、必要な応急措置、校長・副校長・養護教諭への連絡など。

係	担 当	主 な 役 割
総指揮	校 長	対応方針の決定、校内の総括・指揮、 教育委員会への報告、警察・マスコミ対応等
通報 連絡	副校長	非常放送（避難指示）、関係機関、保護者・PTA等への対応、校外からの連絡窓口の一本化、事務的な対外折衝等
	教務主任	情報収集、状況の把握・記録伝達（副校長を補佐）、 緊急保護者会の企画
避難誘導	生活指導主任	児童の避難誘導及び人員確認、安全確保、 下校や集団下校・引渡しの指揮、 状況説明と動揺を防ぐための全校集会の企画
	学級担任	児童の安全確保・避難誘導、保護者への連絡、 学級の児童の不安や動揺の解消等
	学年主任	担任への助言、担任不在の学級への援助体制の指示
防 御	各学年で役割分担	不審者への対応、施設設備の修復、 担任不在の学級への援助、児童の安全確保
救 護	養護教諭	応急措置、負傷者の状況把握、医療機関への連絡・付添 健康状態の把握、心のケア

6. その他の対応＜緊急時の連絡体制＞

《不審者対応における緊急時の連絡体制の整備》

- 校長は、随時、状況を教育委員会教育指導室に報告するとともに指示に従う。
- 校長は、教育委員会の指示に基づき、児童の早期下校や休校等について決定し、保護者に連絡する。
- 負傷者が発生した場合、誠心誠意をもって対応する。

緊急通報マニュアル

C-④

1. 警察を要請する場合（不審者等）

◎ 「**110**」または「**3674-0110**（小松警察署）」

「**不審者が侵入しています。**」

「**江戸川区立小松川第二小学校です。**」

「**住所は 江戸川区小松川3-6-4 です**」

「**電話番号は、03-3681-4319**」

「**目標物は、さくらホール横です。**」

「**状況は〇〇〇、不審者の状況は〇〇〇、**

刃物等は〇〇〇、けが人は〇名、

2. 救急車を要請する場合

◎ 「**119**」をダイヤルする。

・「**こちら消防庁。火事ですか、救急ですか。**」

「**救急車をお願いします。**」

「**江戸川区立小松川第二小学校です。**」

「**住所は 江戸川区小松川3-6-4 です。**」

「**電話番号は、03-3681-4319 です。**」

「**けが人(病人)は〇年生、男子(女子) 〇名**」

「**症状、けがの状態は〇〇〇**」

職員玄関側の門を開け、通りに出て、救急車が到着したら案内をする。